

# アルミ缶 リサイクル ニュース

January  
**1**  
2017

Vol. 138



**アルミ缶リサイクル協会**  
Japan Aluminium Can Recycling Association

東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル6階  
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒104-0061  
<http://www.alumi-can.or.jp>

## 2017年 年頭所感 循環型社会構築への貢献に向けて



アルミ缶リサイクル協会  
理事長 遠藤 政宏

新年あけましておめでとございます。

2017年の年頭所感にあたり一言ご挨拶を申し上げます。昨年は6月の英国のEU離脱を始め、欧州での連続テロやシリア難民問題など世界景気を後退させる事件が発生しており、また、米国は今年からトランプ新大統領に交代となり、その手腕は未知数ではありますが、世界的な保護主義貿易への回帰も懸念されており、予断を許さない年になると思われます。

こうした中で我が国の環境施策として、将来に向けた「持続可能な社会」を目指して、平成12年に制度化された「循環型社会形成推進基本法」に基づく「容器包装リサイクル法」は、2013年秋に合同審議会にて評価/見直し論議がスタート、昨年の5月に終了しましたが、結果として大きな法改正等の結論には至りませんでした。当協会は3R推進団体連絡会の構成団体として昨年6月に第三次自主行動計画を策定し、2020年目標としてアルミ缶リデュース率10%達成、リサイクル率90%以上を安定的に維持することを目標としました。



一昨年2015年度実績はコーヒー飲料やアルミボトル缶の拡大により、過去最高の222億缶が消費され昨年も同等並みの消費が有りました。リサイクル率は輸出UBC量も含めると90.1%になり、目標の90%以上を達成することが出来ました。リデュース率は蓋の縮径化や、消費が増加した350ml缶以下の小型缶での単重削減効果があり7.8%と、これも目標の4.5%を大きく上回る事が出来ました。アルミ缶はその優れた特性とリサイクル性を持つ容器包装として、回収活動は容器包装8素材の中では比較的早期に始まり、消費者、回収団体(学校、町内会等)、自治体、事業者のご協力もあり、リサイクル率はこの10年間80%以上を維持出来ております。昨年は国の「3R推進団体功労者等表彰」で、当協会の推薦団体が財務大臣賞と文部科学大臣賞を受賞しました。関係各位には改めて深く敬意を表しますと共に、長年に亘るアルミ缶回収活動へのご協力に対して厚く御礼申し上げます。今後このような功労者、団体の掘り起し、顕彰もリサイクル活動支援の一環として続けてまいります。

最後となりましたが、今年一年の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



## 3R推進団体連絡会 第二次自主行動計画のフォローアップ報告

当協会を含む容器包装リサイクル8団体で構成する3R推進団体連絡会は、12月14日、第二次自主行動計画の5年間の取り組み成果と2015年度のフォローアップ報告を行いました。この自主行動計画は、容器包装の3R、特にリデュース、リサイクルの推進を軸に、事業者が自主的に取り組んでいるものです。

5年間の取り組みで、5団体がりデュース目標を、6団体がりサイクル目標を達成したほか、主体間の相互理解と連携進化、市民、自治体、事業者との意見交換の場作り等、様々な活動を展開し、一定の成果を上げてきました。

3R推進団体連絡会では、昨年6月に策定した2020年度を目標とした第三次自主行動計画に引き続き取り組み、(1)事業者自ら実践する3R行動の計画 (2)主体間の連携に資するための行動計画を二本柱に取組んでいきます。尚、フォローアップ報告書は、「3R推進団体連絡会」ホームページで、ご覧いただけます。



# 2016年(平成28年)度アルミ缶回収協力者(一般)表彰

## 受賞63団体

当協会はアルミ缶リサイクルの推進、普及活動として、毎年アルミ缶の回収に協力していただいている小・中学校及び一般団体を対象に優秀な回収活動実績に対し表彰する制度を設けています。現在までに3,000を超える団体を表彰しました。

今年度は昨年9月に小・中学校の優秀校を決定し表彰しました。今回は一般団体の優秀者を決定しました。

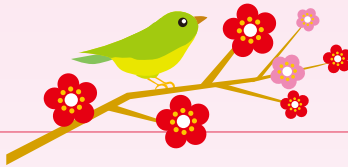
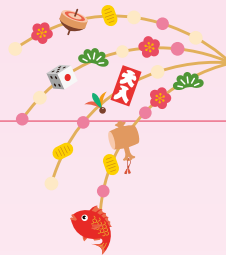
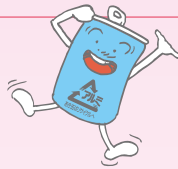
本年度も当協会に登録している全国の回収拠点様から96団体の推薦をいただき、選考の結果63団体を表彰することにしました。

受賞された団体には心よりお喜び申し上げますと共に、日頃のアルミ缶リサイクル活動への協力に対しお礼申し上げます。また、残念ながら今回の選にもれなかった団体には来年度の受賞を目指し活動を継続していただければ幸いです。

推薦に協力いただいた回収拠点様には厚くお礼申し上げます。受賞された団体は次の通りです。

### 新規受賞 敬称略(都道府県順)

- ① 桜川団地町会
- ② 弘前市徳田町町会
- ③ 城西町会連合会
- ④ 角浜実践区
- ⑤ サポートセンターおきたま・だいまち
- ⑥ うつみねの会
- ⑦ 社会福祉法人清峰会さざなみ学園
- ⑧ わんにゃん会
- ⑨ 埼玉県三郷市立前間小学校卒業対策委員会
- ⑩ 社会福祉法人児童愛護会青松学園
- ⑪ 大柳町自治会
- ⑫ 青梅市千ヶ瀬町第一自治会
- ⑬ 本町二丁目町会
- ⑭ 中野本町マンション管理組合
- ⑮ くすのき扇子田長寿会
- ⑯ 片山自治会
- ⑰ 金沢自治会
- ⑱ 幸町町会幸友会地区
- ⑲ 板橋区高島平三丁目自治会
- ⑳ 小田中央町内会
- ㉑ 社会福祉法人慈湧会緑の家
- ㉒ 元宮自治会
- ㉓ 社会福祉法人かしの木会くず葉学園
- ㉔ 東婦人会
- ㉕ 多機能型事業所あすなろ
- ㉖ 高屋白木子ども会
- ㉗ 北方町地域活動支援センターもちの木
- ㉘ 沓間商会
- ㉙ 中山下区
- ㉚ 特定非営利活動法人せきれい
- ㉛ 北庄内ポートボール
- ㉜ 第二きそがわ作業所
- ㉝ 東中町子ども会
- ㉞ 元欠子供会
- ㉟ 荒尾住宅町内会
- ㊱ 障がい者福祉サービス事業所ありんこ
- ㊲ 社会福祉法人ひかり福祉会たんぼぼ作業所
- ㊳ 滝ノ町リサイクル事業推進グループ
- ㊴ 六分一子ども会
- ㊵ 曾根東之町子供会
- ㊶ 井口台地区社会福祉協議会
- ㊷ 社会福祉法人つつじ多機能型事業所コスモス
- ㊸ ふれあいサロンニコニコ会
- ㊹ 仁保地区子ども会育成会
- ㊺ 八幡浜市八幡浜保内赤十字奉仕団川の石分団
- ㊻ 観音下老人クラブ資源物回収
- ㊼ 武雄市北方町地域婦人会
- ㊽ 社会福祉法人飛翔会障害福祉サービス事業所ワーキングヒルズ



- 青森県青森市  
青森県弘前市  
青森県弘前市  
岩手県九戸郡広野町  
山形県長井市  
福島県郡山市  
福島県西白河郡西郷村  
栃木県栃木市  
埼玉県三郷市  
千葉県長生郡一宮町
- 東京都青梅市  
東京都青梅市  
東京都渋谷区  
東京都中野区  
東京都江戸川区  
東京都江戸川区  
東京都板橋区  
東京都板橋区  
東京都板橋区  
神奈川県川崎市川崎区  
神奈川県座間市  
神奈川県横浜市鶴見区  
神奈川県秦野市  
神奈川県秦野市  
長野県安曇野市
- 岐阜県本巣郡北方町  
岐阜県本巣郡北方町  
静岡県伊豆の国市  
静岡県御殿場市  
静岡県浜松市天竜区  
静岡県浜松市西区  
愛知県一宮市  
愛知県岡崎市  
愛知県岡崎市  
愛知県東海市
- 三重県多気郡明和町  
滋賀県彦根市  
京都府長岡京市  
兵庫県加古郡稲美町  
兵庫県高砂市  
広島県広島市西区  
広島県東広島市  
広島県尾道市  
山口県山口市  
愛媛県八幡浜市  
佐賀県杵島郡江北町  
佐賀県武雄市  
長崎県大村市

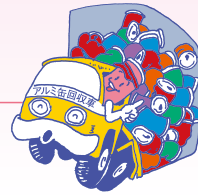
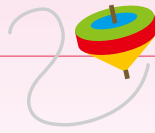
49 小江原東自治会  
50 特定非営利活動法人こすも

長崎県長崎市  
鹿児島県西之表市



**再選受賞** 敬称略(都道府県順)

- ① 老人クラブ東開町ほほえみ会
- ② 筑西市幸町自治会
- ③ 社会福祉法人那須烏山市社会福祉協議会あすなろ
- ④ 本田上自治会
- ⑤ 足立区千住四丁目町会
- ⑥ 水道山ひまわり会
- ⑦ 東欠子ども会
- ⑧ 社会福祉法人くるみの里福祉会
- ⑨ 社会福祉法人あじさい福祉会
- ⑩ NPO法人わかたけ第二事業所つつじ作業所
- ⑪ 社会福祉法人もみじ福祉会第一もみじ作業所リサイクルグループ
- ⑫ 社会福祉法人若葉因島であいの家
- ⑬ 浜っ子共同作業所



北海道苫小牧市  
茨城県筑西市  
栃木県那須烏山市  
埼玉県春日部市  
東京都足立区  
神奈川県横浜市保土ヶ谷区  
愛知県岡崎市  
愛知県江南市  
滋賀県彦根市  
岡山県赤磐市  
広島県広島市  
広島県尾道市  
愛媛県八幡浜市

## 2016年(平成28年)度優秀回収拠点表彰

昭和24年の創業以来半世紀にわたり、リサイクル事業を営んでいます。廃棄物の全てのリサイクルに挑戦し、リサイクルシステムを確立することを目指す活動をしています。

**安田金属株式会社**  
広島県廿日市市



大正3年創業、古紙リサイクルを主事業として、高砂・加古川の二工場を拠点とし、広範囲にきめ細かい営業活動を実施しています。

**株式会社池田**

兵庫県高砂市

本年度は選考の結果、次の2社を表彰することになりました。受賞された拠点様には日頃よりのご協力、ご尽力に感謝申し上げます。

優秀回収拠点表彰は、当協会に登録している回収拠点様の中から当協会の活動に特にご尽力、ご協力くださった拠点様を表彰する制度です。

### 2016年(平成28年)度アルミ缶回収優秀校表彰風景

全国各地で優秀校の表彰が行われました。当協会より出向いたもの、拠点様によるものなど、写真を送っていただいたものを紹介します。新聞記事、写真など提供していただいた皆様にお礼申し上げます。



青森市立沖館小学校



沼津市立内浦小学校



八千代町立東中学校



阿南市立大野小学校



茅野市立長峰中学校



伊予市立北山崎小学校



八戸市立種差小学校



佐伯市立上堅田小学校



田辺市立本宮小学校



佐伯市立上入津小学校



筑前町立東小田小学校





# エコプロ2016出展

電車をイメージしたブース。クイズでアルミ缶リサイクルを啓発



エコプロ2016(主催:(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社)は今回で18回目になり、12月8日(木)~10日(土)の3日間、東京ビッグサイトで「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマに「環境とエネルギーの未来展」として開催されました。総来場者は、167,093人(内、子ども15,819人)で昨年より2,025人減少しました(内、子ども439人増加)。

当協会は、子どもたちが楽しく学べる場ということで電車をイメージしたブースにより出展しました。アルミ缶リサイクルの効果、リサイクル工程、リサイクル率の現状などを駅名になぞらえ、パネルにして展示し、また、ポーキサイト、アルミナ、再生地金、アルミ缶スクラップのプレス品なども展示し、アルミ缶がどのように変化するか見てもらいました。

来場者には、アルミ缶リサイクルについて理解を深めてもらうため、アルミ缶リサイクルクイズに挑戦してもらいました。特に、アルミ缶はアルミニウム地金を生産していない日本にとって、大切な資源であること、リサイクルによりエネルギーを節約できることを説明しました。来場者は、約3,500人で昨年より200人くらい多くなりました。

10日(土)の午後からは、子どもに呼びかけブースに絵をかいてもらい楽しく終わることができました。参加者の皆様に感謝いたします。



アルミ缶リサイクル協会のブース全景



内部の展示



外面に描かれた「絵」



## 協会からのお願い

### ● タブは缶といっしょに回収してください

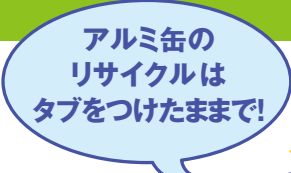
アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

### ● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえ、キャップを締めて回収してください。

### ● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。



## 編集後記

昨年はいろいろお世話になりありがとうございました。本年もよろしくお願いたします。昨年、4月に熊本地震が発生、8月にリオ・オリンピック、などといいこと、悪いことがありました。アルミ缶リサイクルでは、タブのみの回収がまだ行われていることに注目した年でした。NHKでも取り上げていただき、タブもいっしょに回収することが理解されたのではないかと思います。本年もタブもいっしょに回収を呼び掛けていきたいと思います。

## アルミ缶リサイクルニュース第138号

発行日 平成29年1月27日  
 発行人 森口 夏樹  
 編集人 大西 輝彦  
 発行所 アルミ缶リサイクル協会